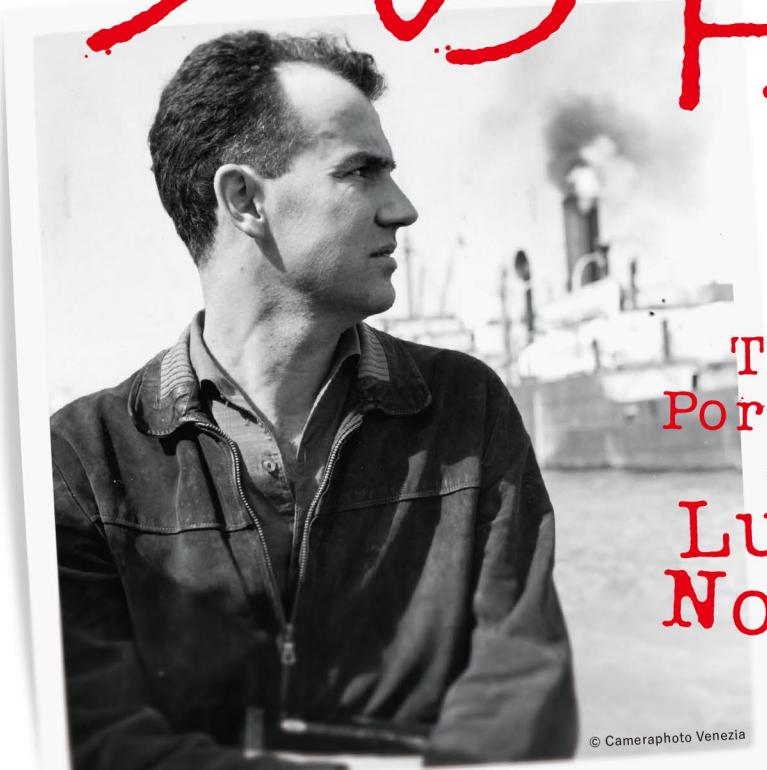


ノーノの肖像

2024
8.31 [土]
水戸芸術館
コンサートホールATM



The
Portrait
of
Luigi
Nono

© Cameraphoto Venezia

水戸芸術館
ART TOWER MITO

料金（全席指定）：

一般 ¥4,000 | U-25 (25歳以下) ¥1,500

* 未就学児入場不可

* U25チケットの取り扱いは水戸芸術館のみ

チケット発売：5月25日 [土]

財団運営維持会員先行予約：5月21日[火] *電話・Web予約のみ

メンバーズ会員先行予約：5月22日[水] *電話・Web予約のみ

主催：公益財団法人 水戸市芸術振興財団



助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット取り扱い：水戸芸術館（9:30～18:00 | 月曜休館）

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター TEL 029-231-8000

◎ウェブ予約 <https://arttowermito.or.jp/ticket/>

e+（イープラス） <https://eplus.jp/> (PC・携帯)

かわまた楽器店 TEL 029-226-0351

ヤマハミュージッククリティリング水戸店

TEL 029-244-6661(店頭販売のみ)

永江楽器 水戸 TEL 029-226-6540



アルディッティ
弦楽四重奏団



木ノ脇 道元
(フルート)



西澤 春代
(クラリネット)



北村 朋幹
(ピアノ)



有馬 純寿
(エレクトロニクス)



片山 杜秀
(ナビゲーター)

[プレ上演] 17:20 開場・17:30 開始 (17:50頃終了)

コントラプント・ディアレッティコ・アラ・メンテ (知的認識への弁証法論理による対位法) (1967-68)

2チャンネル磁気テープのための

Contrappunto dialettico alla mente (1967-68) for 2 channel magnetic tape

[本演奏会] 18:00 開演

……苦悩に満ちながらも晴朗な波… (1976)

ピアノと磁気テープのための

.....sofferte onde serene... (1976) for piano and magnetic tape

夢みながら“歩かねばならない”(1989)

2つのヴァイオリンのための

“Hay que caminar” soñando (1989) for 2 violins

ピエールに。青い沈黙、不穏 (1985)

コントラバス・フルート、コントラバス・クラリネット、ライヴ・エレクトロニクスのための

A Pierre. Dell'azzurro silenzio, inquietum (1985) for Cb-fl, Cb-cl and live electronics

断章—静寂、ディオティマへ (1979-80)

弦楽四重奏のための

Fragmente-Stille, an Diotima (1979-80) for string quartet

ノーノの闘争と夢の痕跡

今年生誕100年を迎えたイタリア人作曲家のルイジ・ノーノ（1924-1990）。彼は、ピエール・ブーレーズやカールハインツ・シュトックハウゼンなどならんで、第二次世界大戦後に新しい音楽創造を目指す前衛作曲家のリーダー的な存在であった。1950年代初頭、ノーノをはじめとする前衛作曲家たちは、20世紀初頭にシェーンベルクやその弟子たち、とりわけウェーベルンが発展させたセリエル音楽を出発点に置き、新しい音楽の創出を目指した。しかし、ノーノは他の作曲家たちと決定的に異なる道を歩き始める。彼は、社会的な問題意識に基づいて創作を行おうとした。彼は芸術上の改革を、自分たちの生きている時代の社会の改革と結びつけて捉えようとしたのである。ノーノの社会的闘争は、ファシズムをはじめ、あらゆる搾取的な権力に向けられ、その一方で、多様な価値観が共存する世界を理想とするようになった。彼の生まれ故郷であるヴェネツィアは、何世紀にもわたって多様な文化が交差してきた街であり、多元的な世界を夢見るノーノの原風景はそこにあるのだろう。

本演奏会に先立って上演する〈コントラプント・ディアレッティコ・阿拉・メンテ（知的認識への弁証法論理による対位法）〉は、ヴェネツィアの市場の声や鐘などの街の音、黒人解放運動指導者マルコムX暗殺やベトナム戦争に反対するテクスト、ソプラノ歌手、俳優、合唱団の声などが使用された電子音楽の傑作だ。〈……苦悩に満ちながらも晴朗な波…〉は、先日他界したピアニスト・ボリーニとその妻マリリーサに捧げられている。ノーノの両親や師マデルナ等の死、そしてマリリーサの流産に接したノーノの悲痛な心境を故郷ヴェネツィアの鐘の音の在り様に投影した作品である。〈夢みながら「歩かねばならない」〉は、本公演に出演するアーヴィン・アルディッティと当時アルディッティ弦楽四重奏団のメンバーであったディヴィッド・アルバーマンのヴァイオリンに魅せられたノーノが、この2人との共同作業によって創り出した、ノーノの最後の作品だ。〈ピ埃尔に。青い沈黙、不穏〉は、ピエール・ブーレーズの60歳の誕生日に捧げられた作品で、「ppppp」から「p」までの弱音で奏されるコントラバス・フルートとコントラバス・クラリネットが、ライヴ・エレクトロニクスと融合して「音の内なる命の探求」が行われている。〈断章—静寂、ディオティマへ〉のタイトルにある「ディオティマ」は、ドイツの詩人ヘルダーリンの小説『ヒューペリオン』で、主人公が熱烈に愛した女性の名前。ノーノはこの作品で、このヘルダーリンの47の短いテクストの断片を楽譜に記載した。断片=断章=瞬間のうちにノーノは「無限」を見い出そうとしている。

ノーノが美的・社会的革新のために繰り広げた闘争と夢の痕跡を、どうぞ水戸芸術館で辿っていただきたい。ノーノが歩んだ道なき道のさらにその先を、「夢みながら歩かねばならない」のは私たちであるのだから。

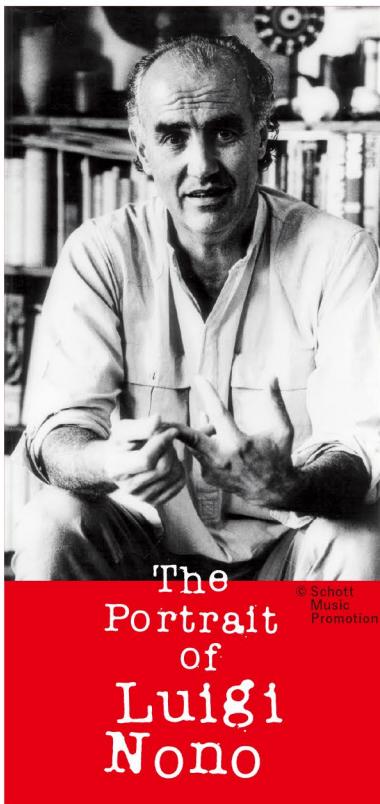
お問合せ：水戸芸術館チケット予約センター

Tel.029-231-8000 | 9:30~18:00(月曜休館)

- 車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、座席へのスマスなご案内のため、予約時にお知らせください。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。

ルイジ・ノーノ（作曲家）

Luigi Nono, composer



1924年イタリア・ヴェネツィア生まれ。パドヴァ大学で法律を学び、そのかたわら41年よりヴェネツィアの音楽院でマリピエロに作曲を師事。46年からマデルナに、48年からはシェルヘンに師事する。50年にダルムシュタットの国際現代音楽夏期講習で行われたシェルヘン指揮による〈カノン風変奏曲〉の演奏により、現代音楽のリーダーとしての名声を確立する。55年シェーンベルクの娘スリアと結婚。56年〈イル・カント・ソスペーソ（中断された歌）〉の初演で国際的な注目を浴びる。54年から60年までダルムシュタット夏期講習の講師を務める。60年代を通してミラノ放送のスタジオで様々な電子技法を探求。64年からはイタリアで工場、労働者クラブ、大学などの労働組合、学生運動団体等の主催による自身の音楽に関する討論会に出席。67年に南米へ3か月旅行した際、アルゼンチンとペルーで講義を行ったが、その際に政治犯釈放への支持を公然と表明したとして逮捕、追放される。キューバではカストロと面会。68年政治活動家のドウチュケとともに西ベルリンで開催された国際ベトナム会議に参加、同年秋には学生運動への連携を理由にヴェネツィア・ビエンナーレへの参加を拒否された。その後、哲学者カッチャーリと交流を深める。ヘルダーリンの著作の分析、ライヴ・エレクトロニクスの実験、ユダヤ文化とギリシャ文化の研究は、弦楽四重奏のための〈断章—静寂、ディオティマへ〉（1979-80）と舞台作品〈プロメテオ〉（1981-84）の両方の作曲に影響を与えた。ドイツ学術交流会（DAAD）からの招待を受けて、86年から88年までベルリンに拠点を置く。90年5月8日にヴェネツィアの生家で他界。サン・ミケーレ島にある墓は、生前親交を結んだ水戸芸術館美術部門顧問も務めた建築家の磯崎新が設計している。

流を深める。ヘルダーリンの著作の分析、ライヴ・エレクトロニクスの実験、ユダヤ文化とギリシャ文化の研究は、弦楽四重奏のための〈断章—静寂、ディオティマへ〉（1979-80）と舞台作品〈プロメテオ〉（1981-84）の両方の作曲に影響を与えた。ドイツ学術交流会（DAAD）からの招待を受けて、86年から88年までベルリンに拠点を置く。90年5月8日にヴェネツィアの生家で他界。サン・ミケーレ島にある墓は、生前親交を結んだ水戸芸術館美術部門顧問も務めた建築家の磯崎新が設計している。

〈出演〉

アルディッティ弦楽四重奏団

- アーヴィン・アルディッティ（第1ヴァイオリン）
アショット・サルキシャン（第2ヴァイオリン）
ラルフ・エーラース（ヴィオラ）
ルーカス・フェルス（チェロ）

木ノ脇 道元（フルート）

西澤 春代（クラリネット）

北村 朋幹（ピアノ）

有馬 純寿（エレクトロニクス）

片山 杜秀（ナビゲーター）



出演者のプロフィールはQRコードから

水戸芸術館

Tel.310-0063

茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL 029-227-8111

<https://www.arttowermito.or.jp/>

